

令和5年度 神奈川県立横浜国際高等学校 指導計画 (予定)

教科・科目	知の理論 (Theory of Knowledge) (総合的な探究の時間)	学年	2, 3	教科書	なし
		単位数	2, 2	副教材	なし

学習目標	(1)「私たちはどのようにしてそれを知るのか。」という中心的な問いについて考え、また、この問いを提起することの価値を認識する。 (2)曖昧さや不確実性、さらには理にかなった答えが複数存在する問いに触れる。 (3)この世界を効果的な方法で探り、その意味を理解する力を養うとともに、新奇で複雑な状況に遭遇したときに対応できるだけの備えを身につける。 (4)自分自身のものの見方についての認識を高め、自分の信念や前提を批判的に考察する。 (5)複数のものの見方に触れ、心を開く姿勢を養い、多様な文化の理解を得る。 (6)学問領域の基本にある概念を探究し、さまざまな学問領域で使われる探究の方法に見られる類似点と相違点を特定して、それらの間のつながりを見つける。 (7)知識の生産、獲得、応用、伝達に関連する価値観、責任、倫理的な配慮の重要性について考える。				
学習方法	○知識の領域の分析 ○コアテーマの分析 ○選択テーマの分析 ○TOK展示 ○TOKエッセイ				
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨		
	a	TOK展示	私たちを取り巻く世界にTOKがどのように顕在しているかを示すことに成功しているか。		
	b	TOKエッセイ	明確かつ筋の通った論理で所定課題を批判的に探究しているか。		
※『知の理論』(TOK)指導の手引きより作成					

内容のまとめ	時期	単元(題材)	評価方法
TOKの基本	1年次 1-3月	○ねらいとコース概要の確認 ○TOK用語の確認 ・「知識に関する問い」 ・「知識の領域」、「コアテーマ」、「選択テーマ」 ○評価の概要の確認	TOKエッセイ(練習)
コアテーマ「知識と知の人」		○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
知識の領域(1)「自然科学」		○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
知識の領域(2)「人間科学」		○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
知識の領域(3)「数学」		○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
TOKエッセイ(練習)	2年次 前期	○TOKエッセイの概要の確認 ○所定課題の選択とエッセイの計画 ○教員との面談①、② ○ドラフトの提出 ○教員との面談③ ○TOKエッセイの提出	TOK展示
選択テーマ(1)「知識と技術」		○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
選択テーマ(2)「知識と政治」	2年次 後期	○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	TOK展示
TOK展示		○TOK展示の概要の確認 ○TOK展示の準備 ○教員との面談①～③ ○コメントリーの提出 ○TOK展示会	
知識の領域(4)「歴史」		○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
TOKエッセイ		○TOKエッセイの概要の確認 ○所定課題の選択とエッセイの計画	
知識の領域(5)「芸術」		○知識の枠組みに応じた知識に関する問いの分析とプレゼンテーション準備 ○プレゼンテーション発表と議論 ○専門教員との質疑応答と振り返り	
TOKエッセイ	3年次 前期	○教員との面談①、②	TOKエッセイ
コアテーマ「知識と知の人」		○知識の領域とテーマについての学習をふまえた振り返り	
TOKエッセイ		○ドラフトの提出 ○教員との面談③ ○TOKエッセイの提出	
TOKのまとめ	3年次 後期	○TOKの成果の共有 ○TOKの振り返り	TOKエッセイ